



株式会社 白崎製作所 代表取締役 白崎 将

秋田で、 ものづくりの 可能性を広げる

道の駅たかのすにほど近い、国道7号沿いに工場を構える白崎製作所。本社は東京都葛飾区。白崎将社長は、大館能代空港を利用し、東京と秋田を往復しながら現場を指揮。秋田に拠点を構えたことで、新たな可能性が広がっている。

高精度のエンブラ加工が得意

同社は、エンジニアリング・プラスチック（エンブラ）の精密加工のスペシャリスト。汎用エンブラからスーパーエンブラ、熱可塑性から熱硬化性まで、樹脂素材それぞれの特性や機能性を見極め、最適な加工方法を実践している。また、樹脂の特性や形状に合わせた特殊刃物や専用治工具を自社開発。さらに、特殊スピンドルを採用した毎分15万回転の超高速マシニングを採用することで、高精度・高品質、短納期、低コストを実現している。

その高い技術で製造されるラッピング・ポリッシングキャリアは、コンピューターや液晶テレビなど、電子機器の半導体を構成するシリコンウエハーやガラス、水晶などの表面研磨工程に使用されている。「これら半導体関係は、クリーンルームでの使用を視野に入れて製造している。高い品質が求められるため、最も気を遣う分野」と白崎社長。

樹脂加工のほかには、アルミ、真鍮、チタンなどの非鉄金属加工、試作品の開発などを手掛けている。

理論に基づいたものづくりを

創業は昭和7年で、白崎社長の祖父が東京は日暮里でワニスチューブ（絶縁被覆）の製造を始めた。その後、戦火により移転。株式会社白崎製作所として法人化したのは32年4月。父である2代目が、ベークライト、エポキシ樹脂などの成形加工を開始し、46年には、凡庸工作機械によるプラスチックの切削加工を始めた。

2代目は、製品の量産を目指した。樹脂加工でそれを実現するには、金型が重要だったため、3代目である白崎社長は、高校卒業後に金型屋に修業に出た。それが後の経営理念に大きな影響を与えることになる。

「そもそも樹脂は温度や湿度によって変形しやすい不安定な素材。それを昔の職人たちは『プラスチックは

生き物。多少の狂いはしょうがない』とそのまはめ込んで使っていた。しかし、金属加工の世界では、わずかな狂いも許されない。樹脂も材質ごとに熱膨張係数などさまざまな特性を理解し理論的に加工すべきだと実感した」

自らが社長となってからは、数値に基づいた裏付けのあるものづくりに力を注いだ。加えて、トライ&エラーを繰り返し、技術の向上を目指した。これが今日の「高精度・高品質」の礎になっている。

秋田の環境を活かし、立て直す

秋田に工場を設立したのは、平成14年。事業拡大に伴い、「当初は東北新幹線沿線の土地を探していた」というが、先に秋田に進出していた同業者の勧めで、北秋田市に秋田事業所を開設した。だが、順風満帆…とはいかなかった。リーマンショック後は、体制の立て直しを余儀なくされ、奔走。「東京と秋田の往復だけでは分からないこともある」と、アパートを借りて移り住み、秋田事業所の立て直しに心血を注いだ。初めて体感し

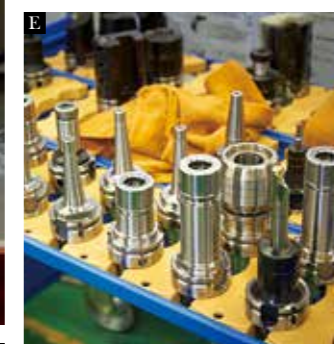
た秋田の冬。「車の雪下ろしをしないと出勤できないとか、仕事の前に雪寄せが必要だとか、秋田の社員の大変さを痛感した」としみじみ語る。ちょうどそのころ、当センターを知り、販路開拓アドバイザーと一緒に営業に回るなどして新規取引先を開拓。結果、秋田が縁で取引が始まった大手企業もある。

ほかにも県の高度技術化に対する支援事業や、当センターの設備貸与を利用して最新設備を導入。県産業技術センターや県立大学などの研究機関とも連携し、より高度な技術を追究できる環境も整った。

以前の秋田事業所は、東京本社の下請け工場といった位置付けだった。しかし、今は製造だけにとどまらず、お客さまの課題を解決するための研究開発を進められるまでになった。現在、秋田事業所はリーマンショック前に比べても、増収増益となっている。「より挑戦的に仕事ができるようになった。これからも秋田に大いに期待をしている」。現在は、県立大学と超微細加工の研究が進行中。白崎社長は「秋田に拠点を構えて得たものは本当に多い」とほほ笑む。B



A プラスチック加工のさまざまな設備がそろった秋田事業所。
B 高性能5軸MC。ワンチャックで高速、高精度を追求し、行程削減・コストダウンを目指す。
C 三次元測定機（画像測定機）を用いた検査。
D 顕微鏡を用いた検査。
E 秋田事業所では非鉄金属の加工も行っている。
F 同社製品の一例。



株式会社 白崎製作所

【秋田事業所】〒018-3301 秋田県北秋田市綴子字前野205-2
Tel.0186-62-2885 Fax.0186-62-2895

【本 社】〒125-0063 東京都葛飾区白鳥4丁目1番12号
Tel.03-3601-3155 Fax.03-3604-3335

- 設 立/昭和32年4月
- 資本金/1,000万円
- 従業員/50名
- 事業内容
プラスチック加工全般、CAD・CAMによる設計・製作、熱硬化性樹脂の成形および加工、センターレス研磨